



国際会長ニュース

愛と尊厳で世界を癒そう



国際会長 キム・サンチェ

2021年 11月号

キム国際会長のメッセージ

- ・ペルー大使とエチオピア大使の訪問
- ・メンターとコーディネーターに感謝



2 ページ



IHQ ニュース 11 月

- ・YMCA 連帯基金への寄付
- ・IPE 選挙の候補者を発表
- ・グラスゴーで開催される COP26 に国際ユース代表が参加

3 ページ



11 月の強調月間テーマ:iGo 4 ページ (世界に手を伸ばすためのインターン制度)

リタ・ヘティアラッチ iGo 国際事業主任による新しいプログラムの紹介



11 月の強調月間テーマ:ASF アレキサンダー奨学基金

基金とは何か。集まったお金をどのように使っているのか。募金への新しい取り組みが発表されました。

田中博之 ASF 国際事業主任

5 ページ



アメリカ地域

シャジュ・サム アメリカ地域会長による活動報告

6 ページ



活発な新クラブ

- ・韓国キメジャンガンクラブが初期の成功について報告
- ・ISD メンターとコーディネーターの紹介

7 ページ



「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」





キム国際会長のメッセージ

皆さま、お元気ですか。

韓国ではみずみずしい緑との別れは寂しいですが、クリスマスや新年への期待感で、またワクワクしています。

私が国際会長の在任中に、8つの地域を訪問して現場の声を聞きたいと思っていますが、未曾有の事態のために、皆さまと直接お会いする機会がありませんでした。2年前に比べると、膨大な数のバーチャルミーティングが YMI の生活に取って代わっていますが、それでも、みんなで顔を合わせて、各地の人の話を聞き、解決策を見出す喜びを楽しみにしているのだと思います。

先日、2人の駐韓大使が私の病院を訪れました。駐韓ペルー大使の訪問は、KOXEIMA(韓国輸出入協会)の手配によるものでした。私たちは、ペルーと韓国の保健分野における国際協力や、コロナウイルスに関連した YMI の医療支援活動について話しました。ペルーのリマを中心としたラテンアメリカ地域のクラブについて、ロッサーナ地域会長が用意した資料をもとに簡単な報告を行いました。

エチオピア大使の訪問は、個人的な知り合いを通じてのものでしたが、私は、時間をかけて YMI を簡単に紹介し、今後エチオピアで YMI を拡大していくための良いリンクとなることを約束してくれました。エチオピアと韓国は、1950年代の朝鮮戦争の際に、アフリカの国としては唯一エチオピアが6,000人の軍隊を派遣してくれたことから、長年の同盟関係にあります。

YMI の普及と活性化のために、各国の YMCA が積極的に参加していることを知っています。そして、その取り組みに各政府の協力が加われば、より効果的なものになると思います。

今年の目標は、認知度の向上と成長です。国際事業主任 (ISD)、メンター、コーディネーターの方々に感謝の意を表したいと思います。この詳細を国際会長ニュースの別の場所に掲載するよう編集者に依頼しました。

また、ISD の活動が地域会長、区理事、部長、クラブ会長と共有され、各地域の活動が ISD とよく共有されることを願っています。(YMI コミュニケーションツリー右図参照)

ありがとうございました。



Kim se ch.
2021-2022 国際会長
キム・サンチェ

IHQ からのニュース - 2021 年 11 月



忙しくしている IHQ からのご挨拶です。11 月は、アレキサンダー奨学基金 (ASF) の強調月間です。パンデミックの状況が続いているため、予定されていた世界 YMCA の各国同盟総主事、世界 YMCA 同盟総主事/執行役員会の対面での会議をバーチャルイベントに変更することが決定されました。私たちは、ジュネーブで各国同盟総主事と直接会って親睦を深める機会を得られなかったことを残念に思っています。国際 ASF の資金は、貧しい国からのこの会議への参加者の支援に充てられることになっていましたが、10 月に、昨年度に続いて 1 万スイスフランが YMCA 連帯基金に振り替えられ、合計 2 万スイスフランが過去 10 ヶ月間、コロナウイルス危機の中で苦しんでいる各国の YMCA を支援するために支給されました。今こそ、地域の YMCA に連絡を取り、パートナーシップの開始や共同活動の調整など、有意義な協働の機会を探ってみてはいかがでしょうか。

国際選挙の計画も進めています。先月、免除申請の期間を終了し、国際議会は、次期国際会長の投票に参加する候補者を選びました。今年の次期国際会長候補者として、ウルリック・ロウリドセン (デンマーク)、スー・テン (デイビッド)・ルア (シンガポール)、チャールス・レッドモンド (米国) の 3 名が選ばれたことを心よりお祝い申し上げます。先日、新型コロナウイルスによる不可抗力を認め、国際会費の期限を例外的に延長することが国際議会で承認されました。国際会費の徴収と IHQ への送金に支障をきたしていた区とクラブには、10 月 31 日までの猶予が与えられ、国際選挙での投票権を維持することができました。

また、10 月には地域会長と区理事が、国際執行役員と Zoom でミーティングを行い、「100 日間会員増強キャンペーン 2021/22」に関連する進捗状況を話し合い、成功と課題を共有しました。また、国際事業主任のミーティングも開催され、国際事業主任が懸念事項を共有し、年間目標に関する最新情報を提供する機会となりました。国際議会の 3 つのワーキンググループ (先行計画、国際憲法の近代化、国際プログラムの見直し) も 10 月に審議を開始しました。それぞれのワーキンググループは、調査結果と提言の最初のプレゼンテーションを 2022 年の年央会議で行う予定です。

国際ユース代表のドワイト・トムリンソンは、グラスゴーで開催される COP26 に参加するために、YMI の国際予算から旅費の支援を受け、YMCA から宿泊施設を提供してもらっています。私たちは、11 月初旬に開催されるこの重要な国際的気候変動イベントに参加する彼の能力と関心に期待しており、来月、ドワイトが彼の経験について詳細を語ることを楽しみにしています。

最後に、「100 日会員増強キャンペーン」が 12 月 9 日まで行われていることをお知らせして、この短いメッセージを終わります。あなたのクラブでは、今月、オープンハウスや会員勧誘活動を行うことができますか。あなたのエクステンション計画について教えてください。写真を送ってください。YMI のニュースを広め、私たちの活動を地元や世界に宣伝し、既存の会員や潜在的な会員に刺激を与え続けましょう。

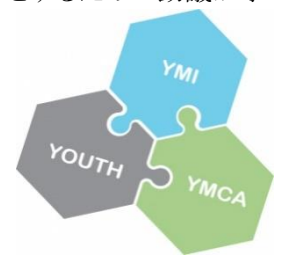
国際書記長
ジョース・ヴァルギーヌ

11月の強調月間 - iGo - 世界に手を伸ばすためのインターン制度

iGoへようこそ! iGoは、ワイズメンズクラブ国際協会とYMCAが共同で実施する新しいプログラムで、両団体に所属する18歳から30歳までの若者に短期のインターンシップを提供します。

YEEP (Youth Educational Exchange Programme)は、長年にわたって非常にうまく運営されてきましたが、近年は活動を休止していました。若者たちは、他の国で1年間生活し、学ぶことに専念することができませんでした。直前国際会長のジェイコブ・クリステンセンは、私が、このプログラムに新たな局面を与えたいと訴え続けてきたことに注目し、任期の初めに委員会を立ち上げました。10ヶ月に及ぶ継続的な議論の結果、「iGo」(「Internships 4 Global Outreach」を意味する)という若者向けの素晴らしい新プログラムが誕生しました。

5月8日に開催された国際議会の特別会議では、YEEPを終了し、iGoプログラムを正式なものとするための動議が承認されました。7月から9月にかけて、YMCAやYMI内のインターンシップ先候補とプログラムを共有し、プロモーションを行うことが決定されました。募集は10月1日に開始され、最初のインターンシップは、募集状況や世界的なパンデミックの状況に応じて、2021/22年度末に実施される可能性があります。



このプログラムは、4つの重要なアクションを中心に構成されています。

*関わる: 異文化や外国語を体験し、視野を広げ、情報を得て積極的な地球市民になるための視点をすることで、グローバルな関わりを築くことができます。

*繋がる: 仕事や社会的なネットワークを構築し、新しい人々と出会い、生涯にわたる友情を育み、国際的な交友関係を共有します。これらは個人的なネットワークや仕事上のネットワークを補完するものです。

*築く - 履歴書を強化するために仕事や生活のスキルを得るでしょう。より魅力的な求職者となり、潜在的な雇用者や世界に訴えることのできる資産となります。

*強める - スキルと自信を身につけることができます。自己肯定感を高め、知識を蓄え、リーダーとなります。

iGoのインターンシップは、若い人たちにとって、職業生活の初期におけるユニークな学習の機会です。単なるスキルや知識の伝達ではなく、「iGo」の就業体験は、グローバルコミュニティと国際的な連帯感を育むものです。



このプログラムの詳細については、[ここをクリック](#)するか、画像をクリックしてください。

iGo 国際事業主任 リタ・ヘティアラッチ

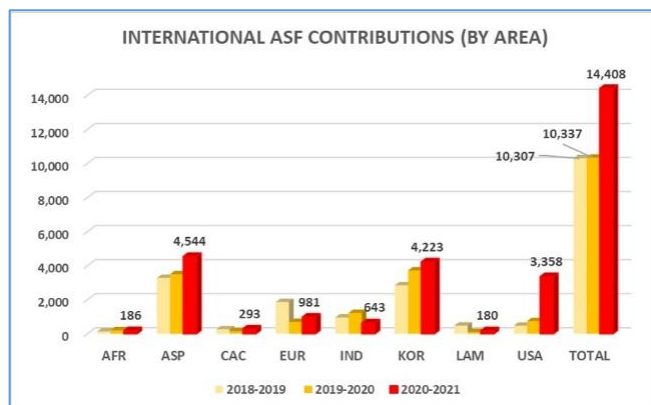
11月の強調月間 - ASF- アレキサンダー奨学基金

強調月間を機に、ぜひ皆さんが ASF についての理解を深め、また、このプログラムに対しての一層のご協力をお願いしたいと思います。

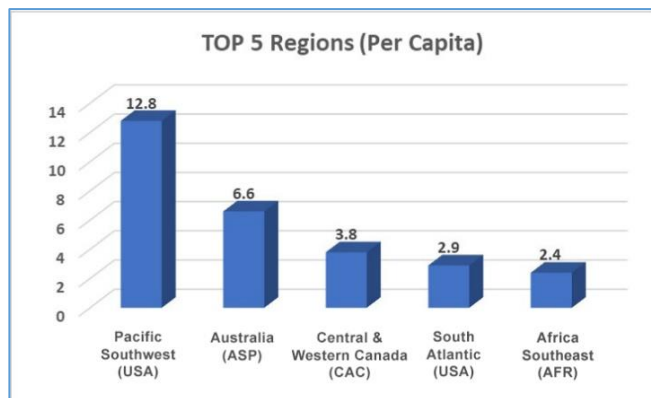
毎年、各地域、各区で集められた ASF 献金は、原則として 70%が、ASF 事業方針に基づく各地での YMCA スタッフのトレーニングやリーダー養成プログラムに用いられます。

残りの 30%が国際 ASF として IHQ に送金され、世界 YMCA 同盟と相談の上、国際的な YMCA のプロジェクトに活用されています。国際憲法に示されている私たちの組織のもっとも大切な目的は、YMCA の支援であり、ASF は、私たちと YMCA の絆を具体的に表す旗艦的なプロジェクトであると言えます。

これまで平均して毎年、約 CHF 10,000 が国際 ASF への献金として捧げられてきましたが、2020-2021 年度は、コロナ禍にも関わらず、CHF 14,000 以上の寄付がありました。この場を借りてお礼を申し上げます。地域毎の過去 3 年間の国際 ASF の献金実績は、右のとおりです。また、昨年度において、会員ひとりあたりの献金額が多かった区に、感謝の意を表したいと思います。



国際 ASF 献金の使途については、これまで、例えば、世界 YMCA 同盟に対し、チェンジ・エージェントと呼ばれる将来 YMCA を担うことが期待されている若者の成長支援プロジェクトや、YMCA175 周年プログラムの支援を行ってきましたが、今年度は、昨年度に引き続いて、コロナ禍において経済的に困窮している各国の YMCA 同盟を支援する世界 YMCA 同盟の取り組みである YMCA 連帯基金に CHF 10,000 の寄付を行いました。



今年度は、国際 ASF への献金額を増やす取り組みとして、また、ワクワクしながら取り組みを進めていただくことを目的として、賞品と表彰を導入することにいたしました。賞品としては、各区に国際 ASF 献金額 CHF 50 毎にチケットが発行され、年度末に抽選で賞金が与えられます。また、ひとりあたりの国際 ASF の献金額が多かった地域と区に対しての表彰も行われます。

昨年度を上回る皆さんのご協力に期待しています。

国際 ASF 事業主任 田中博之

(ASF の詳細は、[ここ](#)をクリックしてください)

アメリカ地域

ワイズメンズクラブに参加した当初は、まさか自分がアメリカ地域会長になるとは思っていませんでした。私がワイズメンズクラブに参加した目的は、自分よりも大きな何かの一部になること、自分の時間を地域社会や困っている人のために使うことができることでした。

ワイズメンズクラブでの私の最初のリーダーシップは、ニューヨーク・ロングアイランドクラブのチャーター会長でした。これは、試行錯誤の時代でした。私たちは、地域社会に貢献するための革新的な方法を生み出すために努力しました。振り返ってみると、私は、メンバーのことをとても誇りに思っていますし、何年にもわたって成し遂げることができた素晴らしい仕事でした。その後、私は、北大西洋区の理事に就任しました。区として、私たちは、目標を達成するために継続的にお互いをサポートしました。ワイズメンズクラブのブランドの強さは、この時にその色を如実に示しました。

私がアメリカ地域会長を務めているのは、YMI のリーダーやメンバーからの継続的な励ましやサポートがあったからです。この素晴らしい組織の向上のために働く機会を与えてくれたメンバーに感謝しています。

私の任期中の目標は、この組織を引き続き推進し、強化することです。そこで、私は、「強固なクラブ、強固な区、強固な地域」を私の主題としました。

会員増強キャンペーンの一環として、より多くの会員を募り、新クラブをチャーターすることで、エリアの強化を図っています。アメリカ地域では、会員の配偶者やユース会員の会費を 50%割引にするというインセンティブを与えています。11 月 21 日にペンシルベニア州で 56 名のクラブをチャーターすることを発表できることを嬉しく思います。

アメリカ地域では、100 周年記念行事のキックオフを行い、ニューヨーク市フードバンクに 3 万食を提供するチャリティープロジェクトに参加しました。

地域社会への貢献に熱意を持って取り組んでいることに感謝しています。各地域で存在感を示し、他の人々を助けることを続けることが重要です。

これからも皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

これからも健康で安全にお過ごしください。

シャジュ・サム(アメリカ地域会長)



Tell a Good Story.



シャジュ地域会長が私に少しのスペースを残してくれたので、私はそのスペースをアピールで埋めます。

どうか、どうか、あなたの「いい話」を私に送ってください。

壮大な文学も、優れた文法も、英語も (Google 翻訳がとても役に立ちます) 必要ありません、ただ...

グッドストーリーを教えてください。

アクションの写真を添えて、ipeditor@ysmen.co.uk までお送りください。

活発な新クラブ

韓国地域のブウルギョン区、キメ部のキメジャンガン(ジャンガンは、中央という意味)クラブは、2019年11月5日にチャーターされたばかりです。クラブはまだ2年経っていませんが、非常に活発に活動しています。

最近の新型コロナウイルスの状況により、屋内での集まりが難しくなっているため、主に屋外での活動を行っています。Week4Wasteに参加し、メンバーの友情と社会的支援の気分高揚にとっても有益であることがわかったので、それ以来、月に一度、地域の環境清掃キャンペーンを行っています。

2021/22年の前期には、キメシンジャンガンクラブとチャンウォンクラブの2つのクラブをスポンサーしました。また、当クラブは毎年少なくとも1つの新クラブを設立することを目標としています。また、国際的な「100日間会員増強キャンペーン」に合わせて、当クラブでは、半期に2名以上の新会員を勧誘した会員に与える特別賞を用意しました。また、現会員1人につき新会員1人を勧誘することを目標としています。



クラブ会長のムン・サン Chol は、YMI100周年記念基金への寄付により100人の名誉会員の一人となり、私たちのお手本となっています。世界は、新型コロナウイルスのパンデミックで麻痺しています。しかし、言い訳をしては何もできません。

「愛と尊厳をもって世界を癒しましょう。」

ISD メンターとコーディネーターの役割と義務

ISD メンターは、YMI に積極的に関わってきた過去の国際的リーダー(元国際会長または元国際議員)で、模範的なコミュニケーション能力と組織力を持ち、英語に堪能な者です。彼らは、YMI のサービスエリアの機能をサポートし、改善するために任命され、すべての目標が達成されるように支援します。メンターは、緩やかに接続されたカテゴリーに属する ISD を担当することがよくあります。

2021/22 年度のカテゴリー、メンター、コーディネーターのリストは、以下の通りです。このチームは、ジェニファー・ジョーンズ前国際会長が率っています。

	国際プログラム	研修と会員	パートナーシップ	コミュニケーション/ アドミニ	ミッション
	BF 推進	リーダーシップ研修	YMCA リエゾン	編集/ブリテン、YMI ワールド	キリスト教強調
	IBC	EMC	アレキサンダー奨学 基金	ヒストリアン	地域奉仕
	TOF 推進	Gold2.0	ロールバックマラリア	PR	エンダウメント基金 推進
		ユース/ユース代表 /STEP/iGo 若者の参画	ワイズメネット	物品	
現メンター	サイン・ジェンキ ンス	シヴァンダン・ ナイール博士	リタ・ヘティアラッチ	ヘンリー・ グリンドハイム	直前国際会長ジェ イコブ・クリステン セン
2022年 からの新 規メンター			元国際会長ジェニフ ァー・ジョーンズ	オルガ・ヴォツキコ ヴァ	
ICM コーディネ ーター	セアム・ラバ	デイビッド・ルア	ナタリア・ノヴァク	ジョセフ・コッターラ ン	A・シャナヴァスカ ン